

月刊

ポケットあわじ

あわじのお宝ざっくざく



えっ！淡路に鍾乳洞!?

昭和39年津名高校地学部が発見した鍾乳洞

淡路にも
鍾乳洞はあります！

兵庫県指定文化財
のじましようにゅうどう
野島鍾乳洞



「花さじき」から「淡路景観園芸学校」
へ向かう道路の途中に案内看板あり

淡路市野島常盤(旧北淡町)の山中にある「野島鍾乳洞」は昭和39年10月、兵庫県立津名高等学校地学部17回生(2年生10名)、18回生(1年生14名)が、顧問の植松剛先生にご指導を仰ぎながら発見しました。

標高240mにある「樋の池ドリーネ」に鍾乳洞の入口があり、この付近の地質はカキやフジツボなどの化石が積み重なって石灰層を作り、地下水の作用で石灰分が溶かされ、鍾乳洞が形成されたもので、洞体は地下に埋没していますが、**洞穴は150m**続いています。発見当時は今のよう
な便利な器材はなく、生徒一人ひとりが自分の目で、手で、身体全部を使って、近くの農家に宿泊して調査

カキなどの化石が2000万年の時を刻む

をしたそうです。
その結果、この鍾乳洞は新生代新第3期中新世中期(約2千万年前)の比較的新しい年代に形成され、小さいながらも学術的に貴重なものと折り紙がつき昭和40年3月、兵庫県の指定文化財となりました。同40年に地学部の24名は全日本科学教育振興委員会、読売新聞社から「日本学生科学賞」のメダルをいただき、50年近く過ぎた今でもこのメダルと、自分たちで成し遂げた満足感いっぱい
の心のメダルを大切に、その頃を語る人たちの目はキラキラ輝き、まさ

に高校生そのものです。その地学部で野島鍾乳洞を発見、調査した経験を軸に、自然科学の道に進んだ人たちがいることも素晴らしい成果だと思っています。
ボタン一つで何でも分かる便利な時代になりましたが、その反面、想像に絶することも多々あります。このような素晴らしい鍾乳洞を近くに擁する私たちが、もっともって淡路島の宝物として何かを残すことができな
いものかと考えずにはられません。(写真提供:小野山二三雄氏、参考文献:北淡町誌ほか) 応援隊:廣岡 ひろ子

- 今の特集 あわじのお宝ざっくざく
- P.1 ・ 兵庫県指定文化財 野島鍾乳洞
 - P.2 ・ 隣の人間国宝さん 紙芝居演者 梶野勝千代さん
 - P.3 ・ 隣の人間国宝さん 三野時計店 三野 実さん

もくじ

- P.4 ・ 隣の動物国宝さん 山羊のネギ
- P.5 ・ 南あわじ市指定文化財 沼島 さや状しゅう曲
- ・ いざなぎの丘元気っ子フェスティバル
- P.6-8 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
パトイノオメ・ソノ・ギ ヲリイノオメ・ソノ

応援隊
認定
隣
の
人
間
国
宝
さ
ん

紙芝居演者

梶野 勝千代さん 70才

楽しんでます～
ボランティア活動



9月15日の敬老の日は、多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う日とされていますが、私の住んでいる町にも今年70歳を迎え、お元気でボランティア活動に取り組んでおられる方がいます。

その方は、子どもたちから“ひげのおっちゃん”と呼ばれ慕われている五色町都志にお住まいの梶野勝千代さんです。

梶野さんは、地元出身の偉人として名高い高田屋嘉兵衛翁について学ぼうと図書館で『菜の花の沖』を読んだのがきっかけとなり、自分で絵を描き紙芝居『高田屋嘉兵衛ものがたり』を制作しました。平成18年に紙芝居が完成すると、町内の高齢者の集まりや小学校、中学校などに出向いて紙芝居を演じるようになりました。芸名のようなお名前に引けを取

らず芸達者で、歌や芝居は勿論、動物の物まねなどもお上手で、何ととっても味のある豊かな表情が印象的です。法被姿で侍カツラをつけて紙芝居を演じる梶野さんは、まるで嘉兵衛さんの生き写しのよう。紙芝居を通して、子どもたちから高齢者まで多くの方に、嘉兵衛翁の偉業や功績を伝えることに使命と喜びを感じていると話してくれました。

現在、二作目となる『稲村の火』の紙芝居を制作中で、これからももっともって元気でボランティア活動を続けていきたいと意欲を燃やしています。

なお、梶野さんは高田屋嘉兵衛翁顕彰会の会員でもあり、現在は都志にある高田屋嘉兵衛記念館で月に8～9日勤務されています。「ポケットあわじを見ましたよー」の一声で梶野さんの紙芝居を生で観ることができるかもしれませんよ。応援隊：瀬戸由美子

高田屋嘉兵衛翁記念館



《高田屋嘉兵衛翁(1769～1827)》

現・洲本市五色町都志に生まれる。江戸後期の海運業者。蝦夷(えぞ)交易を中心に活躍。1812年国後(くなしり)島沖で、ゴロヴニン幽囚の報復としてロシア海軍に捕えられる。翌年帰国後はゴロヴニンの釈放、その他幕府とロシアの仲介に努力。

高田屋嘉兵衛翁記念館：洲本市五色町都志241 電話：0799-33-0464

心のお手伝い

不動石材

仏壇・仏具・墓石

お気軽にご相談下さい

南あわじ市広田広田536-1

TEL. 0799-45-1046



隣
の
人
間
国
宝
さ
ん

三野時計店



三野実さん 82才



時計修理一筋70年

三野時計店 洲本市本町6丁目3-8
電話0799-22-0222(定休日・木曜日)



宝

大正5年製
「標準時計」

三野実さんは、現在82才で家業の時計店を手伝うようになったのは、まだ学校へ通っていた10歳ごろからだそうです。この三野時計店の創業は大正5年で三野さんは3代目になります。最初の店は同じ市内の旧紺屋町でしたが、昭和25年に現在の本町6丁目に移ってきて30歳から3代目として三野時計店の店主となりました。それから時計の販売と修理一筋で現在に至っています。

現在は電池や太陽電池で動く時計が多いですが、昔ながらの歯車を多く使った手巻き時計や自動巻きの時計もマニアなどの間で使われていて、また高級時計もこういった時計が多いそうです。10年くらい前から古い時計を修理に持ってくる人も増えて、それも三野さんの噂を聞いた全国の人からの依頼もあるそうです。先日も200年あまり前に製造された貴重な時計の修理を頼まれ、現在も修理中で動き出すのが楽しみと元気におっしゃっていました。昔は歯車など修理部品に決まった規格がなく、その時計に合うように手直しをして修理していましたが、最近の時計にはそれぞれの時計に決まった部品があるので修理も少し楽になったそうです。



三野さんの噂を聞きつけて
全国から修理の依頼がくる

三野さんは「ひょうごの匠」として、県下の中学校などに出向いて時計の修理体験の講師をされていて、使い捨てが多い時代ですが、こういった技術を若い人たちに伝えるって必要なことだと思いますね。

三野さんに宝物を聞くと、創業当時から店で動いている大正5年製の大きな「標準時計」だと教えてくれました。この「標準時計」とは、振り子の一振りが1秒で「一振一秒」ということだそうです。私も子供のころから三野時計店の前を通るとこの大きな時計が動いているのを見ていました。

皆さんの家で眠っている思い出の腕時計や柱時計など、三野さんの腕でぜひ復活させてみませんか。
応援隊：田処 壺久

父山羊から乳!!

ネギのイクメェ〜ン物語



隣の動物園宝さん

ネギくん

6才



ほくイクメェ〜ン

獣医さんもビックリ!

ネギ君の立派な乳房



注) 残念ながら、子ヤギは父乳もあまり好きみたいようで(笑) 現実には漫画のようにはいきませぬね・・・

テレビを見ていると、『オス山羊の乳房が張りミルクが出た』と話題になってびっくり。それが南あわじ市で倭文庄田というのでまたまたびっくり、こんな近くで大ニュース、飼い主の玉置さんに取材の申し込みをして、三原地区の応援隊3人迷子になりながら雄ヤギのネギ君に会いに行きました。

玉置さんは7頭の山羊をペットとして飼っていてその中の一番大きな山羊、「三匹のやぎのがらがらどん」の絵本の挿絵そっくりのりっぱな角とヒゲの日本芝山羊、六歳、乳房もりっぱです。獣医師の山崎先生も来て下さり、お話を伺うことができました。

ネギ君は、2年前にも乳房が張り出し、その時玉置さんはデキモノかと思い、山崎先生に診てもらったところ乳房と分かったそうです。その時より今回はさらに大きくなっているようです。

今回は今年2月に生まれた子山羊を5月に母親から離れたところ母乳を求めて子山羊がネギ君の隣で一晩中鳴いていた直後に乳房が張り出したそうです。ネギ君の乳房は右側だけ20センチ程に腫れ上がっていました。搾って一緒に飼われている雌のミルクとを、淡路島酪農農業協同組合で検査してもらったところ乳脂肪分が雌のより高かったとか。

種の存続のため、雄のネギ君が母性に目覚め、栄養価の高い乳をつくり子山羊を育てようとしたのでしょ

うか？ 残念なことに子山羊はネギ君の母乳(父乳?)を飲まないそうです。せっかく栄養があるのにもったいない。飲んでいれば立派な山羊に成長するのに・・・と思うのは私だけでしょうか？

ネギ君の様に雄やぎが母乳を出すというのは、非常に珍しい事例で山崎先生は、山形で行われる山羊サミットで発表されるそうです。

応援隊:坂本 厚子・村上 紀代美・川原 雅代



山崎 獣 医 師 ㊤ ネギ ㊦ 飼 主 の 玉 置 さ ん ㊧



南あわじ市指定文化財
ぬしま さやじょうしゅうきょく
沼島 さや状褶曲
日本の地質100選

約1億年前の地球内部の動きがわかる世界的にも珍しい貴重な資料

「さや状褶曲？聞いたことあるけど詳しくわからないわ。」そんなことを思われた方も多いのではないのでしょうか。南あわじ地学の会の展示がパーティ内であったので話を聞いてきました。

さや状褶曲とは、平成6年沼島北端にある黒崎の海岸で発見された同心円状の岩石のことです。地下深い場所で複雑な力により生まれたと考えられ、約1億年前の地球内部の動きがわかる世界的にも珍しい貴重な資料なのです。現在、南あわじ市指定文化財で、日本の地質100選にも選ばれています。

さや状褶曲を見たとき、マグマがまだ柔らかいうちにぐにゃ〜と押されて丸く歪んでできたのだと想像でき、その1本1本の線の複雑さに地球の神秘や雄大さを感じました。よくぞ私たちの淡路島に現れてくれたと感謝したくなりました。淡路島のお宝です。

さや状褶曲全貌は海から船でしか見に行けません。一部分は沼島汽船待合所に展示してあります。見てみたい人は、沼島総合観光案内所にお尋ねください。
応援隊:竹谷 香代

いざなぎの丘 元気っ子フェスティバル

日時 10月5日(日)
10:00~15:00(雨天決行)
場所 淡路文化会館

★わくわく体験ブース ★飲食販売 ★わくわくステージ★消防署・警察署の協賛イベント ◎同時開催【県民交流広場淡路地域フェスタ、商品テスト体験コーナー、淡路市人権尊重啓発ポスター・標語展】

- ・体験イベントには材料費等による有料のものがございます。
- ・都合により内容が変更になる場合がございます。













★淡路文化会館からののお知らせ（県民交流広場ネットワーク会議） ★第七回神楽祭のお知らせ

「県民交流広場ネットワーク会議」のお知らせ

淡路島内の県民交流広場担当者が一堂に会し、日頃の活動状況を発表する機会を設け、広場相互のネットワーク化の推進と充実を図ります。

日時：平成26年9月6日(土)
 場所：淡路文化会館 講堂
 対象：淡路島内各県民交流広場52広場
 日程：12:30 受付
 13:00 開会あいさつ・趣旨説明
 13:20 各広場の活動内容発表
 14:25 意見交換会
 15:55 「地域コミュニティワード2014」代表発表
 16:00 閉会あいさつ・終了

お問い合わせ
 淡路文化会館 TEL 0799-85-1391

第七回 三大神話 神々のふるさと 神楽祭

○日時
 9月23日(火・祝)
 16:00開場
 16:30開演

○場所
 伊弉諾神宮特設舞台
 (雨天時は拝殿にて実施)

○入場料
 全席指定 お弁当・お買物券付
 特別席A：6,000円
 特別席B：4,500円
 一般席：2,000円
 ※当日券にはお弁当はついていません

○チケット購入・お問い合わせ
 伊弉諾神宮境内 せきれの里
 電話受付 0799-70-1010
 インターネット受付 <http://izanagi-jingu.jp>



★兵庫県淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島のお知らせ★

リサイクルセール・イン淡路 出店者募集!

従来の使い捨て文化を見直し、物を大切にすることを育てるため、リサイクルセールを実施します。賛同いただける方の出店を募集します。

日時：平成26年11月23日(日・祝)
 午前10時00分から午後1時00分まで(予定)
 場所：淡路文化会館
 【雨天時は構成団体のみで実施】
 淡路市多賀600
 出店参加資格：グループ又は個人
 (露天商等は不可)
 出店募集数：約80店(1人1店舗、晴天時のみ)
 ※応募者多数の場合は抽選により決定
 出店料：1,500円
 協力金：売上金の10%を協力願います
 販売品：リサイクル生活用品、手作り品等
 申し込み方法：申し込み用紙に必要事項を記入し、
 ※9月10日(水)～10月1日(水)必着で郵送又はFAXしてください
 申し込み、問い合わせ先は下記まで

リサイクルセール・イン淡路実行委員会事務局
 (淡路県民局県民交流室 淡路消費生活センター)
 〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5
 TEL 0799-26-3360 FAX 0799-26-3090

淡路島の地域づくり活動を応援する 『プラットフォーム淡路島』からのお知らせ

淡路全体で地域課題に取り組んでいきませんか!!
～たくさんの方のご参加をお待ちします～
平成26年度

★第1回あわじ地域づくりラウンドテーブル★ 『プラットフォーム淡路島』キックオフセミナー

日時：平成26年9月25日(木) 13:30～16:00
 会場：洲本職員福利センター2階多目的ホールほか
 定員：50人 参加費：無料
 内容：基調講演「地域をひろく・協働をつくる」
 “プラットフォーム淡路島の可能性”
 講師 中瀬 勲氏(兵庫県立人と自然の博物館 館長)
 ◎『プラットフォーム淡路島』とは…
 ◎まち・地域づくりのイチ押し施策(3市)
 ◎グループワークetc

淡路島のまち・地域づくりを進める団体や関心のある人が集まり、情報交換し、現状や課題を共有し、新しい発見や連携へと繋げていく場にしたいと考えています。官民産学が手を携え、みんなで考え、淡路島を盛り上げていきましょうー!!

【申込&問合せ】プラットフォーム淡路島
淡路県民局県民交流室県民課 Tel 0799-26-2043

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	秋のカーニバル2014	9/13(土)～11/3(月祝) 9:30～17:00(11月は～16:30、イベントにより異なる) ビジター棟	※料金はイベントにより異なる ※別途入園料、駐車料金要
	入園無料日	9/15(月・敬老の日) ※65歳以上 10/12(日・秋の都市緑化月間)	※別途駐車料金要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00～18:00 (最終入館17:30)	南の島の夏物語 —花と水のトロピカルガーデン—	7/13(日)～9/28(日)	入館料:大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
	花の文化祭! ハワイアンデー—フラとタヒチとベリーダンス☆—	9/20(土)～9/21(日)、 9/23(火・祝)	観覧無料※別途参加費・入館料要 入館料:大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	「希望の一步」講演会 第1部:講演「希望の一步」 星野仁彦(福島学院大学大学院教授、精神・心療内科医) 第2部:活動報告	9/14(日) 13:00～16:00 文化ホール『しばえもん座』	入場無料 【問】特定非営利活動法人テンペラーレ(Iiy0学園) 電話・FAX 25-6230
	洲本吹奏楽団ファミリーコンサート しばえもんで コラボ祭2014	9/28(日) 13:30～ 文化ホール『しばえもん座』	入場料500円 【問】洲本吹奏楽団(喜田) 090-2040-6340
淡路人形座「9月公演」 おかげさまで 淡路人形座50周年!	【日時】9/1(月)～26(金)「ワンコインレクチャー(所要時間30分)」 10:00,11:00,13:00,14:00,15:00 ◎料金 大人500円 中高生400円 小学生300円 幼児100円 9/27(土)「人形解説」・「戎舞」 28(日)～30(火)「レクチャー」・「戎舞」 10:00,11:00,13:00,14:00,15:00 ◎料金 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 ◎9/3・10・17・24は休館です(9月から毎水曜日が定休日になります)。 ◎今月は巡回公演を行っており、通常公演はございません。 【問合せ】TEL:0799-52-0260(淡路人形座)		
(一財)淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	平成26年度東日本大震災復興支援「花の潤い」助成事業申請団体募集	【募集期間】 随時受付中(採択額が予算額に達した時点で終了) 【実施対象期間】 H26.4/1～H27.3/31 ※詳細及び申請書は「淡路島くにうみ協会」のHPを参照	
	第3回淡路島くにうみ講座・淡路花祭2014秋オープニング「花づくりと人づくり、地域づくり」	【講師】 矢澤秀成氏(NHK趣味の園芸講師) 【日時】 9/20(土) 13:30～15:00 【場所】 南あわじ市 南淡公民館 【定員】 150名(無料)※事前の申し込みが必要です。	

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	潮香会小品展	9/2(火)～10(水) 9:00～17:00 ※展示室	鑑賞無料
	“草木彫”漆器小品展	9/2(火)～15(月) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
	淡路日本画セミナー 「三美会色紙展」	9/12(金)～24(水) 9:00～17:00 ※展示室	
	美サロン展(美術展示 ボランティア作品展)	9/17(水)～29(月) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
	手漉き和紙とフォト展	9/26(金)～10/5(日) 9:00～17:00 ※展示室	
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	第2回 明兆顕彰会作品展 明兆が元祖である水墨画を 中心に絵手紙も展示しま す。	9/2(火)～28(日) 9:00～21:00(最終日は 16時まで) ※アールギャラリー 月曜休館	鑑賞無料 【問】市民交流センター
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	平成26年度 交通安全ポスター展 洲本市小中学生の交通安全 ポスター作品展	9/21(日)～29(月) ※ただし24(水)は休館日 9:00～21:00 ※エントランス	鑑賞無料 【問】洲本市人権推進課 TEL: 22-2580
南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137 -1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成26年度 館蔵品展Ⅱ	9/12(金)～ 9:00～17:00 入館は16:30まで 月曜休館(9/15は開館、16 は休館)	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロンカー ド」「のびのびパスポ ート」利用可 【問】玉青館

	イベント名	日時・会場	問合せ先
淡路芸術文化祭 9月の予定 	第18回観月会	9/8(月) 南あわじ市南淡公民館	南あわじ市南淡公民館 0799-50-3048
	絵島の月を愛でる会	9/8(月) 岩屋ポートビル前広場	淡路市文化協会事務局 0799-74-5304
	洲本市民文化展	9/20(土)～21(日) 洲本市文化体育館	洲本市文化協会事務局 0799-28-1048

編集だより

夏休み、ようやく終わりましたね(*.*)親にとつては長かった40日間。子どもは生き生きと、毎日目をキラキラさせて遊んでいました。子は宝と言います。授かった命は何にも代えられない尊いものです。そんな子どもも、大きくなるにつれ、親に色んな無理難題を言ってきます。でも、それは子から親に与えられた宿題だと思えます。夏休みが終わっても、取り組んでクリアしていかなければならないのでしょうか。淡路島の恵まれた自然、豊かな食糧のおかげで子供達はすくすく育っています。これからも、自然豊かなこの土地を大切に、共に歩いて行けたらと思います。お宝スポット、子どもと行っても楽しめる所ばかりですよ。是非ご家族で行ってみて下さいね! 応援隊 三宅恵理子



「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。
<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊

淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

